



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 テイカ株式会社  
 コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清野 學  
 (氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,103	2.5	1,389	△16.7	1,421	△15.5	903	△10.7
25年3月期第2四半期	17,662	△0.1	1,668	△15.8	1,682	△14.4	1,012	△11.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,703百万円 (94.5%) 25年3月期第2四半期 876百万円 (△0.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	18.21	—
25年3月期第2四半期	20.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	42,286	29,232	68.8	586.17
25年3月期	41,173	27,826	67.3	558.51

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 29,090百万円 25年3月期 27,718百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	6.4	2,800	0.4	2,800	△0.6	1,700	△1.3	34.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	51,428,828 株	25年3月期	51,428,828 株
26年3月期2Q	1,801,301 株	25年3月期	1,798,659 株
26年3月期2Q	49,629,000 株	25年3月期2Q	49,634,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策の効果により、輸出関連企業を中心とした業績の回復や個人消費の持ち直しなどが見られるものの、欧州景気の停滞、新興国経済の減速、米国の財政問題や円安に伴う原材料価格の上昇など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは事業環境や顧客ニーズの変化に対応した積極的な販売活動の展開に努めました。主にチタン鉱石や燃料等に係わる製造原価の上昇があり、当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は181億 3 百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は13億 8 千 9 百万円（前年同期比16.7%減）、経常利益は14億 2 千 1 百万円（前年同期比15.5%減）、四半期純利益は 9 億 3 百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

第 2 四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の 8 ページ「セグメント情報等」をご参照ください）

#### 酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内はインキ向け等の販売が堅調に推移したものの、輸出において東南アジア市場の市況軟化の影響を受け減少、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は、化粧品向けの販売が好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は101億 7 千万円（前年同期比5.2%減）となりました。

#### その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤等日用品向けが堅調に推移し、売上高は前期を上回りました。海外の連結子会社の販売は引き続き好調を維持し、売上高は前期を大きく上回りました。

硫酸は需要が低迷し、販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

無公害防錆顔料は、欧米向けの輸出が回復し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

導電性高分子酸化重合剤は、中国品の台頭に伴う競争激化により、低調に推移いたしました。

倉庫業は荷扱量が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は、医療用向けの販売が引き続き好調で、売上高は前期を大きく上回りました。以上の結果、当事業の売上高は79億 3 千 3 百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の資産総額は、422億 8 千 6 百万円（前連結会計年度末比11億 1 千 3 百万円増加）となりました。増減の主なものは、現金及び預金が22億 5 千 1 百万円増加、たな卸資産が12億 6 千 2 百万円減少したものであります。

負債合計は、130億 5 千 4 百万円（前連結会計年度末比 2 億 9 千 2 百万円減少）となりました。増減の主なものは、借入金 が 7 億 7 千万円減少したものであります。

純資産合計は、292億 3 千 2 百万円（前連結会計年度末比14億 5 百万円増加）となりました。増減の主なものは、利益剰余金が 6 億 6 百万円増加、その他有価証券評価差額金が 6 億 8 千 3 百万円増加したものであります。

当第 2 四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが43億 5 千 4 百万円の収入（前年同期は12億 7 千 9 百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益13億 6 千 6 百万円に加え、たな卸資産が12億 9 千 9 百万円減少したことによるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローが 9 億 4 千 9 百万円の支出（前年同期比 4 千 7 百万円支出額の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出 8 億 5 千 1 百万円によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローが11億 7 千 2 百万円の支出（前年同期比 8 億 8 千 8 百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出 8 億 4 千 5 百万円によるものであります。この結果、現金及び現金同等物の第 2 四半期連結会計期間末残高は54億 8 千万円（前連結会計年度末比22億 5 千 1 百万円増加）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年 5 月10日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,308	5,559
受取手形及び売掛金	10,719	9,862
商品及び製品	5,912	5,633
仕掛品	552	363
原材料及び貯蔵品	3,849	3,055
その他	713	495
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,055	24,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,045	3,972
機械装置及び運搬具（純額）	4,029	4,092
その他（純額）	1,858	2,002
有形固定資産合計	9,932	10,067
無形固定資産		
投資その他の資産	135	109
投資有価証券	5,443	6,546
その他	631	620
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	6,049	7,141
固定資産合計	16,117	17,318
資産合計	41,173	42,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,477	3,473
短期借入金	2,114	2,454
未払法人税等	339	443
賞与引当金	324	329
その他	2,002	2,035
流動負債合計	8,257	8,736
固定負債		
長期借入金	2,390	1,280
退職給付引当金	2,487	2,458
環境対策引当金	99	79
その他	110	499
固定負債合計	5,088	4,318
負債合計	13,346	13,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	9,792	10,398
自己株式	△540	△541
株主資本合計	25,874	26,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	2,551
為替換算調整勘定	△24	58
その他の包括利益累計額合計	1,844	2,610
少数株主持分	107	142
純資産合計	27,826	29,232
負債純資産合計	41,173	42,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	17,662	18,103
売上原価	13,621	14,369
売上総利益	4,040	3,734
販売費及び一般管理費	2,372	2,344
営業利益	1,668	1,389
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	54	65
その他	27	12
営業外収益合計	84	79
営業外費用		
支払利息	54	41
その他	14	6
営業外費用合計	69	47
経常利益	1,682	1,421
特別損失		
固定資産除却損	50	54
投資有価証券評価損	32	—
特別損失合計	82	54
税金等調整前四半期純利益	1,599	1,366
法人税、住民税及び事業税	498	425
法人税等調整額	86	16
法人税等合計	585	441
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	924
少数株主利益	2	20
四半期純利益	1,012	903

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	683
為替換算調整勘定	12	95
その他の包括利益合計	△138	779
四半期包括利益	876	1,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	872	1,669
少数株主に係る四半期包括利益	3	34



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,599	1,366
減価償却費	954	920
受取利息及び受取配当金	△56	△67
支払利息	54	41
売上債権の増減額(△は増加)	△44	914
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,821	1,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,147	△64
その他	△99	215
小計	△560	4,625
利息及び配当金の受取額	56	67
利息の支払額	△56	△45
法人税等の支払額	△719	△292
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,279	4,354
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△937	△851
投資有価証券の取得による支出	△5	△56
その他	△54	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△997	△949
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	712	△26
長期借入金の返済による支出	△697	△845
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△296	△296
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283	△1,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,557	2,251
現金及び現金同等物の期首残高	5,412	3,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,854	5,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第 2 四半期連結累計期間 (自平成24年 4 月 1 日 至平成24年 9 月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,726	6,935	17,662	—	17,662
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	266	266	(266)	—
計	10,726	7,202	17,929	(266)	17,662
セグメント利益	1,395	269	1,664	3	1,668

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第 2 四半期連結累計期間 (自平成25年 4 月 1 日 至平成25年 9 月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,170	7,933	18,103	—	18,103
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	240	240	(240)	—
計	10,170	8,174	18,344	(240)	18,103
セグメント利益	916	467	1,383	5	1,389

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。